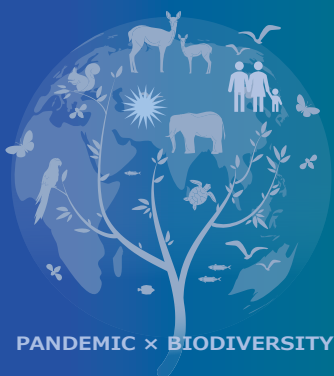


特別企画

次のパンデミックを防ぐために 我々は何ができるのか？

ウイルス学・生態学・公衆衛生学の視点から考える



COVID-19 のパンデミックは多くの人の命を奪っただけでなく、社会全体に深刻な影響をもたらした。地球上の人口が 80 億人を超え、環境破壊や地球温暖化が加速するなど、人的要因により地球の生態系は限界に達し、パンデミックが起こるリスクはかつてないほどに高まっている。本来は、世界が協力してそのようなリスクを低減する努力をするべきである。しかし、世界は COVID-19 から十分な教訓を学んではおらず、COVID-19 以前の世界に急速に戻ろうとしており、世界のパンデミックに対する脆弱性はむしろ高まっている。パンデミックのリスクを低減するためには単一のアプローチでは不十分であり、「総合知」を必要としている。今回の特別企画では、パンデミックリスクを「ウイルス学」、「生態学」、「公衆衛生学」といった視点から徹底的に議論する。医学や生命科学だけではなく、さまざまな専門分野の若手研究者や学生とともに、人類にとって最大の脅威のひとつであるパンデミックの問題の本質を議論する場としたい。

五箇公一・国立環境研究所 生物多様性領域・室長

保全生態学者・ダニ学者。ヒアリをはじめとする外来種対策や農業リスク管理など生態リスク対策研究に従事。生態学の見地からパンデミックの問題に取り組んでいる生物多様性のエキスパート。オールブラックの服にサングラスというハードな風貌がトレードマーク。メディア出演多数。趣味として CG で生き物の絵を見事に描く。

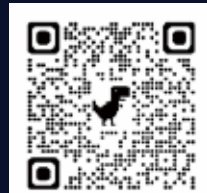
11.26(TUE)

17:00-20:00

- 開催形式：対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド
- 対面会場：青葉山コモンズ 1 階 ラーニングコモンズ (農学部)
東北大学青葉山新キャンパス (MAP J41)
<https://www.library.tohoku.ac.jp/agr/facility.html>
- 対象：東北大学の教職員・学生 / 東北大学外の研究者・学生
- 使用言語：日本語
- 登録締切：2024 年 11 月 25 日 (月) 15:00



プログラム・講演要旨



参加登録



佐藤 佳・東京大学 医科学研究所・教授

東北大学農学部出身。COVID-19 の原因ウイルスの変異株やその亜系統の解析などで世界トップクラスの研究成果を挙げている気鋭のウイルス学者。『「新型コロナウイルス学者」の平凡な日常』(週刊プレイボーイ) でコラムを連載し社会に発信するなど、その活躍はアカデミアにとどまらない。



押谷 仁・東北大学 医学系研究科・教授

WHO 西太平洋地域事務局・感染症地域アドバイザーとして 2003 年の SARS の世界的流行で陣頭指揮をとり、封じ込めに成功。COVID-19 パンデミックでは政府の分科会などの委員として対応にあたる。日本の対応について New York Times や Nature に寄稿するなど世界的にも注目された、ウイルス学・疫学のエキスパート。山登りをこよなく愛する山男。



瀬名秀明・作家 (モデレーター)

東北大学大学院薬学研究科在学中に『パラサイト・イヴ』でデビュー。『インフルエンザ 21 世紀』をはじめ著書多数。『NHK 100 分 de 名著』『アーサー・C・クラークスペシャル』の『空想』ではない』で第 52 回星雲賞ノンフィクション部門受賞。(撮影=佐々木隆二)





特別企画

次のパンデミックを防ぐために 我々は何ができるのか？

ウイルス学・生態学・公衆衛生学の視点から考える

プログラム

第1部：問題提起

- 17:00-17:10 イントロダクション 瀬名秀明 (作家)
- 17:10-17:30 話題提供 1 「増大するパンデミックリスクとそのリスクの低減のために世界がすべきこと」
押谷 仁 (東北大学医学系研究科・教授)
- 17:30-18:00 話題提供 2 「パンデミックウイルスの特徴と起源を探る」
佐藤 佳 (東京大学医科学研究所・教授)
- 18:00-18:30 話題提供 3 「生物多様性異変と新興感染症ウイルス～新たなる自然共生社会を目指して～」
五箇公一 (国立環境研究所・生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室・室長)
- 18:30-18:40 休憩

第2部：討 論

- 18:40-20:00 モデレーター 瀬名秀明
パネリスト 押谷 仁・佐藤 佳・五箇公一

討議テーマ

1. なぜ生態系の変化がパンデミックのリスクを増大させるのか
2. パンデミックのリスクを増大させている要因はなにか
3. ワクチン開発に偏重している世界の対応の問題
4. なぜパンデミックのリスク低減策は進まないのか
5. 将来展望ーリスク低減のための提言ー
6. 次のパンデミックに備えるために何ができるのか



セミナー会場

対面会場：東北大学 附属図書館農学分館 ラーニングcommons

アクセス

所在地

〒980-8572
仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
青葉山 commons 内

地下鉄

「仙台駅」から東西線「八木山動物公園」行きに乗り、
「青葉山駅」下車。南出口より徒歩約5分。

青葉山新キャンパス

J41

<https://www.library.tohoku.ac.jp/agr/facility.html>



ヒアリ
五箇公一



Online : Zoom

参加 URL は前日夕方に登録者へ配信